

# 広島大学病院 がん医療従事者研修会

広島大学病院では、がん診療の質の向上及び専門的な知識の普及を目的とし、がん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を以下のとおり開催いたします。

講演

## 「緩和治療薬の使い方・考え方：最近のエビデンス」

聖隷三方原病院 副院長 緩和支持治療科  
森田 達也 先生

演者は、もともと、「医者が必要とされているらしいけど、だれもやりたがらない(から、困っている)」領域の仕事をしたがりたいと思い、ホスピスの臨床に入りました。当時は「医者のやる仕事ではない」という声も多く、いまのように緩和ケアが医療のなかで重要な役割をもつとは認識されていませんでした。10年ホスピスや在宅で患者さんご家族と接して本当によい経験をしたが、同時に、「もっといい方法があるのではないか」ということも多くありました。

それから、国立がんセンター研究所支所(東病院)で臨床研究の勉強をさせてもらい、臨床と研究の両立を目指しています。本日は、緩和治療に関する薬物のエビデンスとそれを応用した実践について述べます

### 講師紹介

平成4年 京都大学医学部 卒業  
平成14年 聖隷三方原病院 勤務  
平成17年 " 緩和支持治療科 部長  
平成26年 " 副院長



(座長) 広島大学病院 がん化学療法科 教授 杉山 一彦 先生

日時 ▶ 2014年11月13日(木)18:30~

場所 ▶ 広島大学医学部 広仁会館

〒734-8551 広島市南区霞1丁目2番3号

参加申込は、広島大学病院患者支援センターへお知らせください。

✉ [byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp)

Fax: 082-257-1720 Tel: 082-257-5934

(主催)